

APAコーポレーション  
第60回販社会議を開催



岡田憲己社長

岡田社長「珪素の認知度が向上」

ますます高まっており、類似品もいろいろ出てきている」と話した。そのうえで、同社の水溶性珪素「ウモ」に関する最新の研究成果を紹介した。

産卵鶏による動物試験で、血管強度向上作用などが確認されたことを報告。防夕ニ効果に関する試験では、10倍希釈スプレーで水よりも17%良い結果が得られたとした。化粧品として塗布した際のウモの角質、表皮、真皮への浸透性を調べた試験でも、十分な浸透性が確認されたと報告した。岡田社長は、タイプパツクタイプの高濃度水素生成システム「水素源」についても言及。10パツク単位で販売していた同商品について、1パック単位でのサンブル・ノベルティ提供が可能になったと報告した。水素源の新CMも紹介。水素源に配合している抗菌石について、レジ

珪素の臨床応用例も発表

第30回学会発表会に180人超

珪素に関する学術研究を推進する日本珪素医学学会は9月24日、第30回学術発表会を都内のフクラシア品川クリスタルスクエアで開催、水溶性珪素を研究する医師や学識経験者、珪素商品の販売会社の関係者ら180人超が参加した。藤沼院長を務める藤沼秀光医学博士が、臨床現場での水溶性珪素の応用事例について報告したほか、水の波動特性研究家の中島敏樹理学博士が



藤沼秀光医学博士



中島敏樹理学博士

オネラ菌の抗菌効果が確認されたと話した。続いて、Life Park.biz（本社東京都、渡部裕也社長）の金子昭伯会長が登壇、「治療する時代は終焉へ未来の医療とは？」を

テーマに講演を行った。山野井理事長の講演では、珪素に関する研究がこれまで世界中でどのように進められてきたかといったことや、珪素摂取の重要性などについて分かりやすく解説した。

一方、藤沼氏は「藤沼医院における代替医療と珪素の役割」をテーマに発表を行った。解熱剤や抗生物質といった現代医学の医療そのものが、新たな疾病の引き金になっている可能性を指摘。自身が院長を務める藤沼医院で行っている代替医療の内容や症例を紹介した。

当日は他にも、韓国から来日したり、シオン医師による講演などが行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

「T型コラ、伝子（Co.）現促進」「（Sirt）も確認酸化スト、の1つであるプロスタンの加齢病態増加しているリンジヨ群少していた。をさらに確皮膚組織にペラトロー、細胞試験での増加も確認これら研究では「メリペラトロー、膚老化を遅安全性の高、として有用」ている。

一人者として知られる、（一財）未来医学財団の山野井昇理事長による講演も行われた。冒頭、岡田社長が講演し、「珪素の認知度はま

「エラスチン」を提案

「リ」訴求サプリに配合提案

週間後、同8週間後の皮膚粘弾性を調べた。その結果、P-エラスチン摂取群では、8週間後（すくすく）、4週間後（まっさら）の皮膚粘弾性は、4週間後・8週間後とも粘弾性の値に有意な変化はみられなかった。

いる。同社の「P-エラスチン」は、たんぱく質85%以上、デスモンとインデスモンが合計0.8%以上で規格化。（公財）日本健康・栄養食品協会（事務局東京都）が定める、JHFA（ジャファ、認定健康食品）の「エラスチン食品」の品質規格（規格番号）に準拠している。

ホンダSHC

植物種子抽出物「メリンジョレスベラトロール」

皮膚の薄化防止作用も明らかに

機能性天然素材を開発するホンダSHC（本社福井県、細田真也社長、0776-1221-4748）が内面からの美容に貢献できる健康食品素材として提案しているのが植物種子抽出物「メリンジョレスベラトロール」だ。同素材は、皮膚の薄化防止作用を持つことが千葉大学の研究により明らかになった。シワなど

ATHENA

100%JHFAのシズバメ

有効成分シアル酸を10%以上

不動産事業などを行う「古くから、美と健康を美」であるシアル酸

食を12週間、自由摂取させ、皮膚の厚さを測定した。その結果、②の加齢病態抑制が確認された。同試験では、③群において②群比で、「老化遺伝子（p53）の発現抑制」が確認された。

対し、③の加齢病態・メリンジョ群では、薄化の抑制が確認された。

態・通常食群では①の正常モデル・通常食群に比べて皮膚の厚さの減少（薄化）がみられたのに、③の加齢病態・メリンジョ群では、薄化の抑制が確認された。

なお、メリペラトロール、インジヨ群の動物試験に血管の老化作用がある作用が認められている。